

NPO 法人住まいのホームドクター／設計者の会  
460-0006 名古屋市中区葵 1-27-32 カイフビル 7階

# HD ニュース

No.33  
2015.11.15

今後の予定／於：事務局会議室

11月17日(火)18:00～ マンション大規模修繕研究会  
11月17日(火)19:00～ 研修会  
11月19日(木)18:30～ 木造技術研究会  
12月3日(火)18:30～ 役員会  
12月15日(火)18:00～ 相談委員会  
12月15日(木)19:00～ 研修会

## 「三河地方の地震と災害に備えた安全な住まいづくり事業」

副理事長 森 登

平成28年度公益信託愛・地球博開催地域社会貢献活動基金助成申請に、平成27年10月31日付けでエントリーしたことを報告します。

### 助成対象の事業内容

■愛知建築士会「平成26年度愛知地域貢献活動事業」で取りまとめた作成資料を補強増強し、総合情報資料として印刷製本します。

### 補強増強の内容

- (1) 地震・地殻変動に対する最近の捉え方を紹介します。
- (2) 碧南市と西尾市の計3地域を対象とし、ハザードマップを用いて、地域住民・児童生徒と一緒に路上観察・ケーススタディを行います。
- (3) 平成28年度市町の助成・補助制度を紹介します。
- (4) 耐震改修困難者に対する対策を市民提案できるように、下地作りを進めます。

■総合情報資料を関係諸団体に配布し、ケーススタディした地域を主に、それを用いて「住まいの講

演会・相談会」を開催します。

目的として、「防災減災まちづくりの意識を一層高めつつ、リフォーム詐欺に遭わないよう住民力の底上げを図る」、としました。

具体的には、平成29年2月～3月で、計3箇所を予定しています。

### 今後の予定

書類選考に残った場合（結果は平成28年2月上旬予定）、平成28年3月に「ウイルあいち」にて公開審査に出席し、活動内容のヒアリングを受ける事になります。助成の可否は3月下旬です。

### 御検討ください

助成の可否を受けて、具体的な事業内容とスケジュールを組み立て、会員の皆様にお知らせいたします。と同時に、活動に参加いただける方を募りたいと思いますので、御検討いただきますよう宜しくお願いいたします。

## 小牧市議会議員に復帰して

理事 西尾貞臣

今年10月4日の投開票で、小牧市議会の議員に復帰し、議員3期目を迎えています。平成15年（2003）に議員となりましたが、建築の道を選んで以来、現在も社会とコミットする核は、「建築、まちづくり」にある、これに変わりはありません。

任意団体「住まいのホームドクター／設計者の会」の設立が平成15年8月で、この頃からの参加ですが、市会議員となり、地元、地域を優先することとなり、今日まで失礼し、縁遠くなっておりましたが、寄稿のお誘いをいただき有難く、私の思いや近況を、お伝えさせていただきます。

平成15年の頃は、漠然としていましたが、今で

は、「自治体のあり方」が、極めて重要である、との確たる思いを持っています。日本全体を構成する、基本的な要素である自治体が、自律し独自性を持ち、様々な要素が調和し、将来への展望や進展があり、安全・安心への確かな備えがあり、将来の希望を描ける信頼度の高い自治体であること。これこそが、国を成立させる根本にある、との認識です。

制度や事業の適正性、地域の歴史・文化や伝統・行事、地域コミュニティの充実等、ソフトに対応して、道路、河川等のインフラ、建築、史跡、田畑・里山、景観等のハードの有機的な調和は、自治体の根本的事項であり、現場の存在が、机上の計画、判

断の危うさを、回避させるチェック機能を果たすとの認識。全国1718の市町村の状況が、即、国の有り様に直結している、と思うのです。自治体個々のあり方と、相互が影響しあいステップアップして行く、複合的、重層的、有機的な関係性が築かれ、やがては、全国に波及して行くことを思い描きます。

「成長から成熟へ」これは、コラムニストの天野祐吉さんの著書（集英社新書）のタイトルですが、この国の将来像はこれだと合点し、この言葉を使わせていただいています。

少子高齢社会、人口減少、経済成長の鈍化等、経験や先例のない時代にあります。

しかし、国政の「ぶれ」や緩慢さ、近視眼的思考や行動、品性や倫理観の劣化を観るにつれ、ますます、自治体単位でのあり方が、問われている、と思ひ至るのです。

結局、自分の立脚する場所、地域で、如何に思考し行動し、状況を動かし変えて行くか。休まず思考し、継続し、働きかけ続ける。そして、人の繋がりを紡ぐこと。この考えや思いは、紛れもなく、建築への関わりの中で、培われ育まれてきた、そして、実践へと導かれてきている、と確認します。



小牧市図書館（1978年 設計：象設計集団）

さて、私の属する自治体の状況を以下に。

ここ数ヶ月のうちに、小牧市は、新図書館の建設で、NHKをはじめ多くのマスコミが報道し、全国に名を知られる自治体となり、地元では大きな関心事となっています。

新図書館計画を進めるかどうかを、市民に問う「住民投票」が、市議会議員選挙と同時に行われ、結果は「ノー」と出ました。ここに至った責任を、市長も議会も問われ、今後の動向が、地元は元より、全国的にも大きな関心事となっています。

12月の第4回定例議会に於いては、市長も議会・議員も、考えや行動が問われることとなりながら、まだ内向きの状況に見えます。

現在の図書館の誕生に、設計・監理の仕事に関わった者としても、「建築、まちづくり」の専門家、またNPO・市民活動を実践する者、そして、市民の負託を受けた議員として、市民参画による市民主体の、本来の図書館の実現に向け、全力で関わって行こうと覚悟を新たにしています。

■相談委員会 10/20 18:00~19:00

無料電話相談の相談内容報告、質疑。電話相談当番。HP「Q&A」改定について。

■技術研修会(第144回) 10/20 19:00~21:00

「部屋と廊下、トイレの温度差をなくして、本物のバリアフリーを！」講師：(株)マーベックス

■木造技術研究会 9/17 18:30~20:30

『検査員が明かす建築確認の誤解 申請が「すんなり通る」100のツボ』をテキスト読み合わせ。

■三役会 11/5 18:30~20:30

会員動向の概要、収支状況、HDニュース、HP一般向け相談メニューの充実（インスペクターなど）について、各委員会・研究会の活動報告。今年度事業について。「モリコロ基金助成事業」申請について。技術研修会の内容の選定方法、及び内容充実の方法について（研修委員長：津島勝弥）